

時間割コード	G2B45418	開講年度	2026				
授業題目	英語コミュニケーション演習ゼミ					担当教員	蓬菜 朋子
英文授業名	English Communication Seminar						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・3時限	対象学生	全
講義室	共通教育35講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学DP 的確に情報を収集し、理解し、発信する力					英語資格試験（スピーキングテスト）の対策を通して、まとまりのある発話ができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本ゼミは、英語による発話力の向上を目的とする。英語資格試験のスピーキングテスト対策を通して、短時間準備によるモノログ活動と振り返りを反復的にを行い、発話の改善を図る。さらに、発話を支える技能の向上のため、シャドウイング・音声再現・聴解再構成・内容整理などの活動を適宜取り入れ、理解からアウトプットへとつなげる統合的な練習を行う。						
(5)授業のキーワード	英語コミュニケーション、モノログ、タスク型活動、パフォーマンス評価、振り返り学習						
(6)授業計画	Week 1 ガイダンス（ゼミの概要説明） Week 2-2 短時間モノログの導入、シャドウイング Week 4-5 持続発話の基礎練習、音声再現活動 Week 6-7 基本構成の習得、内容整理活動 Week 8-9 内容拡張と自己修正、聴解再構成活動 Week 10-11 トピック別発話練習 Week 12-13 持続発話と表現の運用 Week 14 総合的な発話の実践 Week 15 まとめ、授業アンケート						
(7)成績評価の方法	(1) 授業内活動への取り組み（80％） 本ゼミは演習科目であるため、授業中の発話活動への参加状況、準備・振り返りへの取り組み、継続的な改善の様子を評価する。評価は英語力の習熟度のみで評価するのではなく、授業期間を通した個々の伸長度を重視し、総合的に判断する。 (2) リアクションシート（20％） 各回の学習内容の理解、振り返り、次回に向けた課題意識の記述内容に基づいて評価する。						
(8)成績評価の基準	毎回の発話活動への主体的な参加、準備および振り返りの継続的な取り組み、発話の改善の過程を評価する。評価は英語力の到達度のみではなく、授業期間を通した個々の伸長度を重視し、総合的に判断する。 90点以上を「卓越している」 80点以上90点未満を「かなり上にある」 70点以上80点未満を「やや上にある」 60点以上70点未満を「水準にある」						
(9)事前事後学習の内容	事前学習：テーマについて内容を整理し、使用する語句・表現を確認する。 事後学習：授業での活動を振り返り、内容や改善点を整理して次回に備える。						
(10)履修上の注意	本ゼミは継続的な参加を前提とする。欠席が4回に達した場合、授業の達成目標に到達することができないため単位は認定されない。						
(11)質問,相談への対応	まずは、メールにて受け付けます。 （ t_horai@shinshu-u.ac.jp ）						
(12)授業への出席	・全ての授業に出席することを前提とする。欠席が4回に達した場合、授業の達成目標に到達することができないため単位は認定されない。 ・「出席停止」や「学修の補充の対象とする事由」に該当する際は、その旨の申請があり、指示された学修の補充に取り組んだ場合は成績評価の対象とする。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断された場合は、健康安全センターからのメールを教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けること。 ・「学修の補充の対象とする事由」により出席できず、補充を希望する場合は、『共通教育履修案内』に掲載されている方法により、共通教育窓口で申請すること。（この場合は、出席扱いにはならない。）						
【教科書】	指定しない。						
【参考書】	指定しない。						